



震災からの復興

令和6年元旦に起きた震災から、早1年が経とうとしています。私たちが住む奥能登地域は深刻な被害を受けました。その復旧半ばに今度は豪雨災害。また、復興が遠のいた感じがします。幸いにも、穴水町は豪雨被害が少なくすみました。しかし、奥能登には、今も多くの人たちが、依然として困難な状況の中で生活をしています。そんな状況下で、あなたたち高校生ができることは何かを考え実行することが求められています。

これまでも、地域の復興支援活動に積極的に参加してきました。例えば、ボランティア活動を通じて被災者の心の支援を行ったり、商店街の人たちと協力し、販売活動を行ったりしてきました。家族や友人を失ったり、住む場所を失ったりした人たちに、孤独感や不安を和らげてあげることが出来たと思います。あなたたち高校生は、被災者と地域社会の間に橋を架ける存在として、声をかけ、話を聞いてあげること、被災者の心の支えとなる事が出来るのではないのでしょうか。

また、情報発信も皆さんの重要な役割です。現在までの復旧状況を、他地域の同世代の若者や大勢の人たちに伝えることは、未来の防災意識を高める事にもつながります。学校での発表、SNSの活用などを通じて、能登の現状や取り組みを広く発信していくことが



大切です。さらに、あなたたち高校生が学べることもたくさんあります。地域の防災訓練に参加して、避難経路や避難所の確認を行うことや自宅で家族と一緒に非常食の備蓄や防災グッズの見直しを行う事など、日々の生活の中で意識を高める事も可能です。これらの取り組みは小さな一歩かもしれませんが、皆さんの行動が積み重なれば、大きな力となります。あなたたち高校生は、地域社会の一員として、そして次世代を担う存在として、能登の復興に向けて共に歩いていくことが求められています。



そこでみなさん、勇気をもって一人ひとりができることに目を向け、力を合わせてこの素晴らしい能登を元気な地域に戻すために今こそ行動しましょう。共に力を合わせて！

